

大島 友佳さん

佐賀県
星槎国際高校出身オープンキャンパスで見た
工房の設備の充実度が
進学の手決め手でした

幼い頃から家具の設計図を眺めては完成品を想像したり、趣味でユニット折り紙をつくったり、ものづくりに興味を抱いていました。造形短期大学部は、オープンキャンパスで見た工房の立派な設備に魅力を感じ、進学することを決めました。

1年次は、建築系を数多く選択。大好きな設計図を見てはワクワクする日々でしたが、製図がとても苦手です…。思い描いた自分と少し違うなど。そんな時、「陶芸」と出会ったんです。家具は設計図のもと、数ミリのズレなく仕上がります。一方、陶芸は大きな設計図でよく、ズレは時に作品の味わいになります。その感覚が私にはすごく合っていると気づきました。土の形状が力加減により繊細に変化する面白さ、素材の触感の心地よさ。私はすっかり陶芸の世界へ引き込まれました。2年次には、先輩に頼まれて灰皿を制作。非喫煙者の私は、使い勝手を考えるのもひと苦労でしたが、リサーチと実証を重ね、喜んでもらえるものに仕上げられたと感じています。

卒業後は、研究生としてもう1年、陶芸と向き合います。スランプの際、知り合いの陶芸家に「スランプは誰にでもある。もう少し頑張ってみたら」と背中を押されたことがきっかけです。この先もずっと陶芸の技術と知識を学び、多くの人に喜んでもらえる作品を作り続けたいと思います。



● 陶芸B(大物)「壺」



● 陶芸B(大物)「傘立て」



● 自主制作「バッグ」



Ceramics